



## シャーシのラックマウント

---

- [シャーシの開梱と確認](#) (1 ページ)
- [シャーシのラックマウント](#) (2 ページ)
- [シャーシの接地](#) (6 ページ)

### シャーシの開梱と確認



(注) シャーシは厳密に検査したうえで出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマーサービス担当者に連絡してください。破損が原因でシャーシを返送する必要がある場合に備えて、輸送用の箱を保管しておいてください。

シャーシで標準装備になっている項目の一覧については、[パッケージの内容](#)を参照してください。

- 
- ステップ1** 段ボール箱からシャーシを取り出します。梱包材はすべて保管しておいてください。
- ステップ2** カスタマーサービス担当者から提供された機器リストと梱包品の内容を照合します。すべての品目が揃っていることを確認してください。
- ステップ3** 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマーサービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。
- 発送元の請求書番号 (梱包明細を参照)
  - 破損している装置のモデルとシリアル番号
  - 破損状態の説明
  - 破損による設置への影響
-

# シャーシのラックマウント

次の警告を記録しておいてください。



## 警告 ステートメント 1006 : ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次の注意事項を守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックにすでに他の装置が搭載されている場合は、最も重いコンポーネントをラックの一番下にして、重い順に下から上へと搭載するようにしてください。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。



## 警告 ステートメント 1018 : 電源回路

感電および火災のリスクを軽減するため、装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。



## 警告 ステートメント 1032 : シャーシの持ち上げ

怪我またはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源ユニット、ファン、またはカードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対に避けてください。これらのハンドルは、シャーシの重さを支えるようには設計されていません。

この手順では、出荷時にシャーシに添付されているアクセサリ キットのラック キットを使用してラックに Firepower 4100 シリーズ セキュリティ アプライアンスを取り付ける方法を説明します。

### 始める前に

ラック（4 本支柱型 EIA-310-D ラック）にシャーシを取り付けるには、次のものがが必要です。

- #1 プラス ドライバ
- スライド レール、マウント イヤー、ネジを含む Firepower 4100 アクセサリ キット

スライド レール アセンブリは、4 本支柱型ラック、およびラック支柱前面の角型スロット、7.1 mm 丸穴、10 ~ 32 インチのネジ穴が付いたキャビネットに使用します。スライド レール

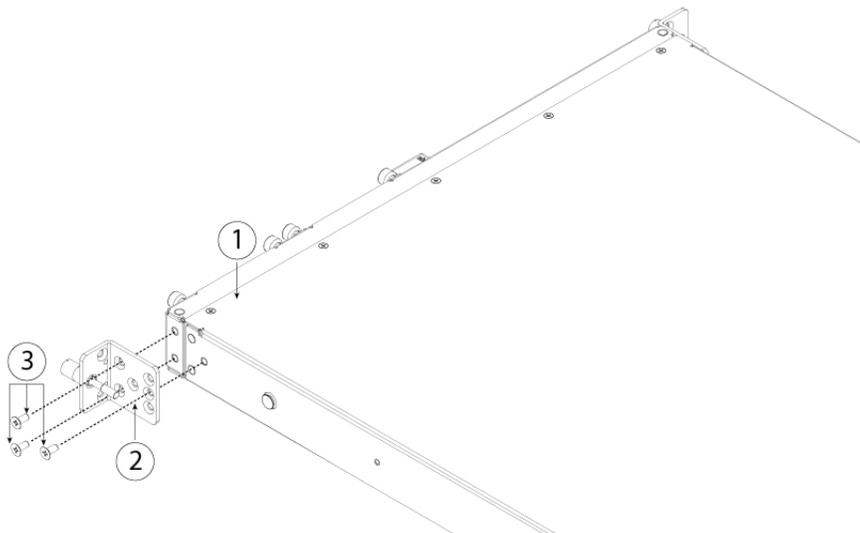
は、ラック支柱の前面から背面へ24～36インチの間隔をとって使用します。スライドレールのラックマウントと連動させるには、ラックマウント支柱が2～3.5 mm厚である必要があります。



(注) レールの上に内部障害物があると、スライドレールの設置がより複雑になることがあります。支障なくスライドレールを設置するために、レールの上に内部障害物がないラックを使用します。

**ステップ1** アクセサリキットに付属の6本の8-32 X 0.375 インチ皿穴プラス ネジを使用して、シャーシのそれぞれの側にラックマウント ブラケットを取り付けます。

図 1: シャーシ側面へのラックマウント ブラケットの取り付け

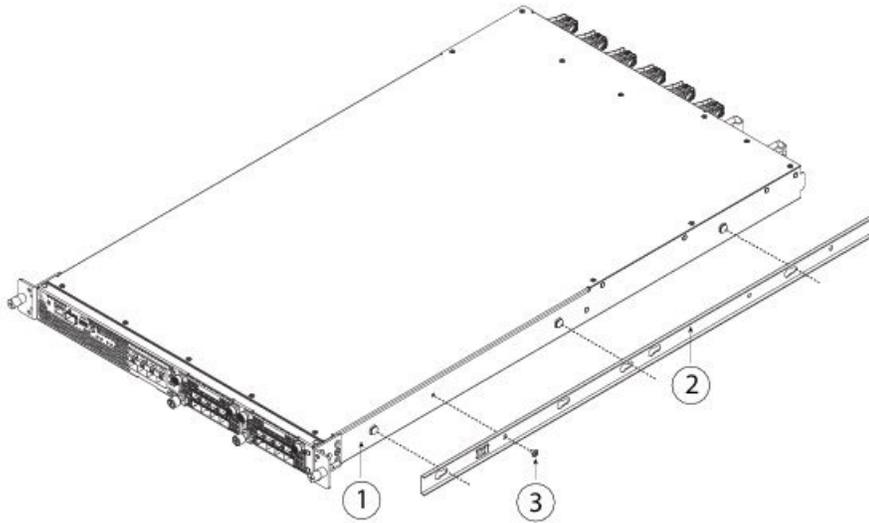


1	シャーシ	2	ラックマウント ブラケット
3	8-32 X 0.375 インチ皿穴プラス ネジ (各側面に3本)		

**ステップ2** シャーシの側面に内側レールを装着します。

- a) スライドレール アセンブリから内側レールを取り外します。
- b) レール内の3つのキー付きスロットがシャーシ側面の3個のペグの位置に合うように、内側レールをシャーシの一方の側の位置に合わせます。
- c) キー付きスロットをペグに設定し、レールを前面に向けてスライドさせて、ペグの所定の位置にロックします。背面キー スロットには、ペグにロックするための金属製クリップがあります。
- d) 1本の M3X6mm ネジを使用してシャーシ側面の内側レールを固定します。
- e) 2番目の内側レールをシャーシの反対側に取り付けて、別の M3X6mm ネジで固定します。

図 2: シャーシ側面への内側レールの取り付け

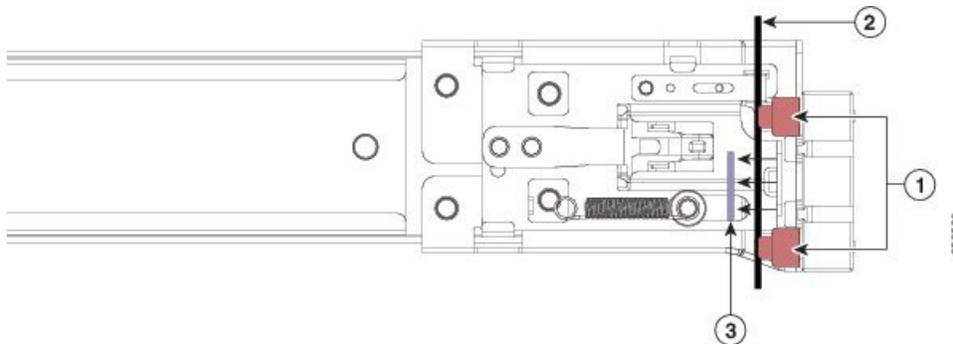


1	シャーシ前面	2	内側レール
3	M3X6 mm ネジ (各側面に 1 本)		

**ステップ 3** 両方のスライドレール部品で前面の固定プレートを開きます。スライドレール部品の前端に、バネ仕掛けの固定プレートがあります。取り付けペグをラック支柱の穴に挿入する前に、この固定プレートが開いている必要があります。

部品の外側で、背面を向いている緑色の矢印ボタンを押して、固定プレートを開きます。

図 3: 前端の内側の前面固定のメカニズム



1	前面側の取り付けペグ (注) 角型スロット、7.1 mm 穴、および 10 ~ 32 ネジ穴で使用	2	開いた位置に引き戻された固定プレート
3	ラック支柱		

**ステップ4** 次の手順に従って、スライドレールをラックに取り付けます。

- a) 片側のスライドレール部品の前端を、使用する前面ラック支柱の穴の位置に合わせます。

スライドレールの前部がラック支柱の外側を回り込むように配置され、取り付けペグが外側の前部からラック支柱の穴に入ります。

(注) ラック支柱は、取り付けペグと開いた固定プレートの間にある必要があります。

- b) 取り付けペグを、外側前面からラック支柱の穴に差し込みます。  
 c) 「*PUSH*」のマークが付いた固定プレートのリリースボタンを押します。ばね仕掛けの固定プレートが閉じて、ペグが所定の位置にロックされます。  
 d) スライドレールの長さを調整したら、背面取り付けペグを対応する背面ラック支柱の穴に差し込みます。スライドレールは前面から背面に向かって水平である必要があります。

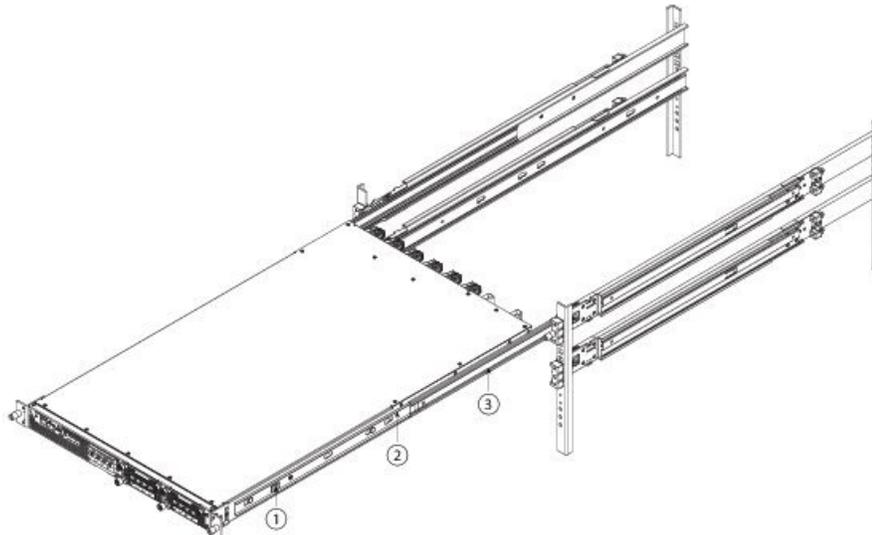
背面取り付けペグを、ラック支柱の内側から背面ラック支柱の穴に入れます。

- e) 2つ目のスライドレール部品を、ラックの反対側に取り付けます。2個のスライドレール部品が相互に同じ高さであり、水平になっていることを確認します。  
 f) 所定の位置に収まって留まるまで、各部品の内側のスライドレールをラック前方へ引き出します。

**ステップ5** シャーシをスライドレールに装着します。

- a) シャーシの側面に装着されている内側レールの背面を、ラック上の空のスライドレールの前端の位置に合わせます。  
 b) 内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライドレールに押し込みます。  
 c) 両方の内側レールでリリースクリップを背面に向けてスライドさせたら、取り付けブラケットがスライドレールの前面と一致するまで、シャーシをラックに押し込みます。

図4:内側レールのリリースクリップ



1	内側レールのリリースクリップ	2	シャーシに装着されている内側レール
3	ラック支柱に装着されている外側レール		

**ステップ6** 取り付けブラケットの前面に非脱落型ネジを使用してシャーシをラックに完全に固定します。

#### 次のタスク

シャーシを接地します。手順については、[シャーシの接地（6ページ）](#)を参照してください。  
ご使用のバージョンの[スタートアップガイド](#)に記載されているデフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルをインストールします。

## シャーシの接地

次の警告に注意してください。



#### 警告 ステートメント 1024：アース導体

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。



#### 警告 ステートメント 1046：装置の設置または交換

感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。



#### 警告 ステートメント 1025：銅の導体のみを使用

火災のリスクを軽減するため、銅線導体のみを使用してください。



**注意** ラックがすでにアースされている場合でも、シャーシをアースすることが必要です。シャーシには、アースラグを接続するための、M4ネジ穴が2つあるアースパッドが付いています。アースラグは、NRTL認証済みである必要があります。また、銅の導体（線）を使用する必要があり、この導体は許容電流のNEC規定に適合していなければなりません。

#### 始める前に

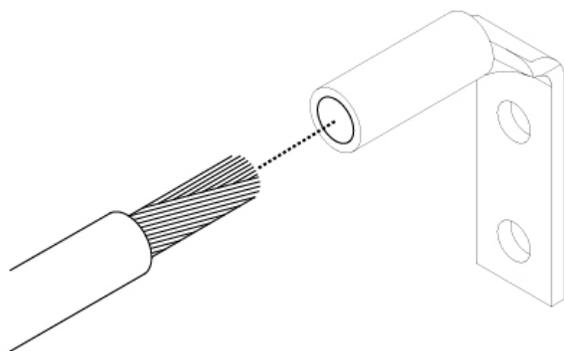
- 次のものをユーザ自身で用意する必要があります。
  - ワイヤストリッパ

- 圧着工具
  - アース線
  - アース ラグを固定するために使用する 10-32 X 0.375 インチ ネジ用の 2 個のスターロック ワッシャ
- アクセサリ キットに含まれている次のものがが必要です。
- アース ラグ #6 AWG、90 度、#10 支柱
  - アース ラグを固定するために使用する 2 本の 10-32 X 0.375 インチ ネジ

**ステップ 1** ワイヤストリッパを使用して、アース線の端から 0.75 インチ (19 mm) ほど、被膜をはがします。

**ステップ 2** むき出しになったアース線の端を、アース ラグの開放端に差し込みます。

図 5: アース ラグへのケーブルの挿入



**ステップ 3** 圧着工具を使用して、アース ラグにアース線を固定します。

**ステップ 4** シャーシのアース パッドに貼られているラベルをはがします。

**ステップ 5** 金属どうしがぴったり接触するように、アース ラグをアース パッド上に重ね、アース ラグとアース パッドの穴に、ワッシャ付きの 2 本のネジを差し込みます。

**ステップ 6** アース ラグおよびアース線が他の機器の妨げにならないことを確認します。

**ステップ 7** アース線の反対側の端を処理し、設置場所の適切なアースに接続して、シャーシに十分なアースが確保されるようにします。

### 次のタスク

ご使用のバージョンの[スタートアップガイド](#)に記載されているデフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルをインストールします。

